

「A」次の文の（訳）の「 」「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 あらぬよしなき者の名のりして来たるも、返す返すもすさまじといふはおろかなり。（枕草子）

（訳）（来るのを待っていた恋人とは）別の「 」「」人が名のってやって来たのも、本当に興ざめだという言葉では言い尽くせない。

①裕福でない ②関係がない ③身分がない ④有名でない 1 「 」「

2 乳母の女房うちおどろき、側をさぐれどもおはせざりければ、「あれよ、あれ」とぞ、あきれける。（平家物語）

（訳）乳母の女房ははっと目を覚まし、そばをさぐるけれど（小宰相が）いらっしやらなかったたので、「あれえ、あれえ」と、「 」「」た。

①慌てふためい ②あきれかえつ ③驚いて途方に暮れ ④声を上げ 2 「 」「

3 さるさがなきえびす心を見ては、いかがはせむは。（伊勢物語）

（訳）そんな「 」「」野蛮な心を見たつて、どうしようか（いや、どうしようもない）。

①前例のない ②性質がよくない ③気性の激しい ④気品のない 3 「 」「

4 つれなしづくれど、おのづから見知りぬ。（源氏物語）

（訳）（六条の御息所は）「 」「」ているが、（相手は）自然とわかってしまった。

①親切なふりをし ②理解したふりをし ③知らぬふりをし ④驚いたふりをし 4 「 」「

5 遅桜、またすさまじ。（徒然草）

（訳）遅咲きの桜は、これまた「 」「」。

①風流だ ②格別だ ③興ざめだ ④凡庸だ 5 「 」「

6 愚かなる人の目を喜ばしむる楽しみ、またあぢきなし。（徒然草）愚かな人の目を喜ばせる快樂も、また「 」「」。

①つまらない ②はなはだしい ③おもしろい ④喜ばしい 6 「 」「

7 用ありて行きたりとも、そのこと果てなば、とく帰るべし。久しくゐたる、いとむつかし。（徒然草）

（訳）用事があつて（人の所へ）行ったとしても、その用事が終わったならば、すぐに帰るのがよい。長居をしているのは、（相手にとつて）とても「 」「」。

①よそよそしい ②わずらわしい ③憎らしい ④わざとらしい 7 「 」「

8 我がため面目あるやうに言はれぬる虚言は、人いたくあらがはず。（徒然草）

（訳）自分にとって名誉になるように（他人から）言われた嘘は、人は「 」「」言い争つて否定しないものだ。

①何度も ②ふつう ③少しも ④たいして 8 「 」「

「B」次の文の（訳）の「 」「」に入る語句を答えよ。

9 この酒をひとり食べんがさうざうしければ、申しつるなり。（徒然草）

（訳）この酒を一人で飲むようなのが「 」「」ので、お呼びしたのです。 9 「 」「

10 まだきに騒ぎて、あいなきもの恨みし給ふな。（源氏物語）

（訳）まだその時にならないうちに騒ぎ立てて、「 」「」恨みごとをなさいますな。 10 「 」「

11 月見るとて上げたる格子下ろすは、何者のするぞ。いと便なし。（大鏡）

（訳）月を見るといつて上げてある格子を下ろすのは、何者がするのか。実に「 」「」。 11 「 」「

12 「飽かず口惜し」と、言ふかひなき法師、童べも、涙を落としあへり。（源氏物語）

（訳）「心残りで残念だ」と、「 」「」法師や、子どもの召使いも、涙を流し合っている。 12 「 」「

解答

【新三年生用】 古文単語330三訂版 P100～P109

- 1 「②」
- 2 「③」
- 3 「②」
- 4 「③」
- 5 「③」
- 6 「①」
- 7 「②」
- 8 「④」
- 9 「物足りない」
- 10 「筋違いな」
- 11 「困ったことだ」
- 12 「取るに足りない」